

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和2年3月22日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470102769		
法人名	有限会社 美泉		
事業所名	グループホームよってきんさい矢野		
所在地	〒736-0085 広島市安芸区矢野西5丁目18-30 電話082-889-6400		
自己評価作成日	令和2年2月10日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3470102769-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和2年3月19日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

民家改造型のグループホームです。段差はありますが見守りと可能な限りの改装で怪我のないよう努めています。介助し過ぎず声掛けと少しのフォローで自分で出来る事が継続できるよう支援しています。天気の良い日には散歩に出かけ、下肢機能の維持や気分転換し近所の方との交流を楽しんでいます。事業所開設以来、家庭医の協力のもと看取りを継続しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

住宅地の一角にあり、家庭的な雰囲気の事業所である。暮らしの中からトイレ入り口の段差を本人の目線で確認意識づけるケア、失敗を指摘しない、優しい言葉かけで本人の人格を尊重する心遣いや配慮がなされていて、個人ケアを重視し、具体的なサービス内容を介護プランに盛り込んで作成されている。町内会に加入し、町内会行事の参加、運営推進会議に町内会長の参加や散歩時の挨拶など日常的に交流を深めている。本人・家族として健康面の不安や重度化、看取りに関しての要望などあれば、行う方針で医師、看護師など医療面での連携体制が整っていて安心して繋がっている。また、職員の意見を聞く機会を設けるなど、風通しのよい事業所となるよう努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	法人開設以来の理念に基づき、職員で話し合い年間の目標をたて、毎日の支援に取り組んでいる。	法人理念の下に職員で話し合い、事業所独自の今年の目標「身体機能の維持」「明るい雰囲気でも利用者も笑顔」を毎日の支援に活かせるよう職員間で共有し、実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会に加入し、順番で役員を受け地域の中の事業所として取り組んでいる。町内清掃や祭りなど体調に合わせ利用者と参加している。	町内会に加入、町内会総会、組長当番や町内会清掃に地域住民として参加している。神社の祭りには利用者と出掛けたり、子供みこしが事業所に訪れ、懐かしさもあり喜ばれている。回覧板を利用者と一緒に次の家に持って行く、散歩時には挨拶をするなど事業所は地域の一員として日頃から交流を深めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	町内の総会や推進会議で質問に答えている。又、入居相談時に困りごとに対しての対応方法など提案している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	定期的開催し、日頃の活動状況などを報告している。町内の行事予定などを教えて頂いている。	利用者 家族、町内会会長、地域包括支援センター職員が参加、定期的開催、近況報告や行事報告など意見交換の場となっている。運営推進会議に参加頂いていた前町内会会長がトラクターで畑を耕して下さるなど会長を退いた後も力添え交流がある。	運営推進会議の議事録内容を書面上解かりやすくする事で、より意見が出やすく、出た意見がサービス向上に活かせるよう期待します。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	定期的に生活保護担当者が面談に来られた際、日頃の様子を伝えたり、市主催の研修会に参加している。	市生活課担当者との面談時、日頃の様子を報告したり、地域包括支援センター職員とは会議の時、意見交換している。市主催の研修会に参加する等協力関係が築けるよう取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束についての研修やマニュアルにより理解している。ベッド柵は必要以上せず、車いすにも抑制帯やテーブルなど使用していない。玄関は日中開放している。	身体拘束をしないケア委員会に各事業所の管理者が出席し、身体拘束しないケアに法人内で取り組んでいる。委員会には各事業所管理者が参加、マニュアルをもとに研修を行い理解を深め、事業所に持ち帰り職員に報告し話し合い、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	社内研修で虐待について学んでいる。職員同士、お互い注意はらい声を掛け合っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修やマニュアルで学び、必要と思われる時には上司に報告、相談し制度の利用を支援している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	重要事項説明書により説明している。質問を受け納得頂けるまで丁寧に説明している。契約後でもいつでも不明な点は質問を受けている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会などに来られた際、日頃の様子を伝えながら要望等聞いている。施設代表者に直接電話をかけられる場合もある。意見、要望は会議で話し合い改善する仕組みにしている。	家族には面会時などに要望や意見を聴いている。利用者には、日常的な会話や仕草の中から散歩やおやつ、食事などの好みを聴きながら少しでも希望に添えるよう努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	申し送りやミーティング時、又は個別に意見を聞き、会議で検討し業務に反映させている。	法人代表による年1回の個人面談や朝の申し送りやミーティング時、意見を聞く機会を設けている。その中で食事面についての提案が反映されて、利用者・職員に喜ばれている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	事業所への訪問や申し送り、会議などで状況の把握に努めている。研修を受けやすいよう勤務時間の調整や、資格取得時にはお祝い手当を設けている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	勤務年数や仕事の能力に応じて、社内外の研修に参加できるよう案内している。研修参加時には勤務時間の調整をしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	研修や勉強会に参加し同業者との交流を図っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前の面談時に自宅や施設、病院に伺い本人の気持ちや要望など聞きながら関係作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入居前相談時より話を伺い、困りごとや不安に思っている事など相談にのり対応している。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>本人や家族の話を伺いその時必要と思われるサービスを一緒に考え検討している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>毎日の生活の中でできる事を助け合いながら行っている。調理や洗濯、洗濯物干し、洗濯物畳み、掃除など一緒に行っている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>面会時や毎月の手紙で様子を伝えている。何か問題がある場合には一緒に考えている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>家族や友人の面会時にはゆっくりして頂けるようお部屋で過ごして頂いている。手紙の投函や電話がかけられるよう支援している。</p>	<p>気軽に来て頂けるよう退院後も回復の度合いをお知らせしたり、以前からの美容院と一緒にいくなど、馴染みの人や場との関係が継続出来るよう支援に努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	テーブル席やソファを相性を考慮し決めている。職員が間に入ることで、皆さんお互いが関わりあえるよう努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	入院時や退去時にはサマリーにより情報を提供している。入院中は洗濯物を届けたり必要時食事介助など支援している。死亡退去時には、希望時事業所でご葬儀をお手伝いしている。		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人や家族より思いを聞き取り、関係者からも情報を収集している。本人からの聞き取り困難な場合には、これまでの生活状況や家族から聞き取りを行い検討している。	本人・家族の思いや意向はセンター方式を活用し情報を収集している。また日頃の会話や何気ない仕草の中から聞き取り記録し職員間で共有している。利用者の中には豪災害時、一時避難され戻られた時、思いを話された事がある。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前訪問で自宅や施設、病院に伺い本人や家族、関係者から情報を得ている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	入居前には本人や関係者より聞き取りを行い情報を得ている。入居後は毎日の生活を観察しながら状態の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>センター方式を用いアセスメントしている。面会時を利用して家族より希望等聞き、職員の意見を聞きながら計画を立てている。申し送りやミーティング時評価し次につなげている。</p>	<p>本人・家族の思いや要望、職員の意見を聞き、具体的なサービス内容を組み入れた介護計画作成をしている。申し送りや毎月のモニタリングを行い、関係者の意見や家族の意見を聞きながら見直し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>個々の生活日誌に毎日の様子や状態を記録している。大切な事は申し送りノートにも記入し職員同士共有している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>入院や通院時の同行や入院時必要あれば洗濯物を届けるなど支援している。できる範囲での書類申請など代行している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域の公園を散歩したり、祭りなどに出かけ楽しんでいる。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入居前の病院が希望であれば引き続きお願いしている。希望がない場合には協力医をお願いしている。定期的に往診して頂き、必要時には適切な病院を紹介して頂いている。</p>	<p>入所時、利用者・家族に要望を聴いている。協力医がホームドクターで2週間に1回の往診がある。歯科、整形外科など受診の際は職員が同行している。緊急時には情報を持つての受診やリクライニング車を使用しての受診も行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	毎日施設看護師に報告している。必要時には昼夜問わず訪問できる体制にしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には付添、サマリーなどで情報提供を行っている。面会に行き状況の把握に努め、地域連携室と連絡を取りながら、早期に退院できるよう努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居時に説明を行っている。重度化した場合には家族や本人に説明し相談し希望に添えるよう努めている。職員でも話し合い、経験の浅い職員にはフォローしつつ対応し支援している。	入居時、重度化した際の対応について説明をしている。法人として要望があれば看取りを行う方針である。重度化した際には家族、医師、法人代表関係者が話し合いを実施している。看護師による支援体制も整っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	マニュアルを元に救急時や急変時の対応を学んでいる。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	避難訓練を年2回行っている。そのうち1回は夜間を想定し行っている。災害に備え水などの備蓄をしている。推進会議で避難時の声掛けなどについて話あっている。	年2回の避難訓練は利用者、職員と一緒にしている。一昨年の豪雨災害時を踏まえ、避難場所も事業所内で決めている。運営推進会議に、災害時の声掛けなどの話をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	個々の性格や生活環境に合わせた声掛けをし、トイレ誘導時や失禁時に不快な気持ちにならないよう配慮した対応をしている。	利用者の人格や性格を十分配慮し、不快な気持ちにならないよう、穏やかなさりげない言葉かけ、優しい声掛けに努めている。職員間でも注意し合うなど優しい支援に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	本人の力に合わせた選択の場面を提供している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	日課は決まっているが、体調や気分に合わせて、ゆっくり休んで頂くなどしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	季節に合った服装が出来るよう支援し、汚れたまま過ごすのではなく、着替えの声掛けや介助をしている。お化粧が好きな方は毎日して頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	法人統一献立はあるが、体調に合わせて変更したり、お誕生日会には好みの献立にし、季節の行事に合わせた献立にしている。食事は利用者と一緒に、出来る範囲で作り盛り付けし、片づけている。	法人管理栄養士が監修した献立に基づいた、食材配達サービスを利用している。食事作りは職員と利用者出来る事（人参、ジャガイモの皮むきなど）を一緒にしている。パン食、週1回のお刺身料理、行事食、誕生日にケーキ作りや職員提案のお好み焼きなど提供され、職員も一緒にテーブルを囲んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>献立はカロリー計算してあり、体調に応じて食欲のない時には捕食している。摂取量や水分量は生活日誌に記録し把握している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、口腔ケアを行っている。自力磨き困難な方には介助している。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄状況を記録し、パターンの把握に役立てている。できる限りトイレでの排泄を心掛け、夜間はポータブルトイレに誘導している。</p>	<p>個々の排泄パターンを把握し、トイレでの排泄に繋げている。夜間はポータブルトイレを設置し利用している。昼と夜のパットサイズを変えるなど工夫されている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排便チェック表を用い、排便の確認をしている。体操や散歩、家事作業で体を動かし、便秘時には牛乳を飲用して頂いている。必要時、緩下剤を服用して頂いている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>日曜日以外は毎日入浴できる。季節に合わせてしょうぶ湯や柚子湯を楽しんで頂いている。冬場は脱衣場や浴室を温め配慮している。入浴時には皮膚の状態など全身の観察を何気なく行っている。</p>	<p>週3回の午後浴で無理強いはいらない、希望があれば毎日でも可能である。季節を感じる菖蒲湯やゆず湯も楽しみになっている。入浴の際には、皮膚の状態や観察に心掛けている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>食後、休息が必要な方にはベ ッドで休んで頂いている。シー ツを定期的に洗濯し布団を干し 、室温の調節を行い気持ちよ く休めるよう支援している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>薬の説明書を読み副作用も含め 理解している。薬の管理は職員 が行っている。臨時薬の服用に ついては、その効果を観察し、 報告している。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>できる事を役割とし継続できる よう声掛けや介助をしている。 散歩やおやつ、食事など好みを 聞きながら少しでも希望に添 えるよう努力している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出か けられるように支援している。</p>	<p>近所の公園や通りなど、体調や 天候に合わせて出かけている。 春にはバスで花見に出かけてい る。</p>	<p>体調や天候を見ながら川沿いの フェンスにそっての歩行や飲み 物を持って公園までの散歩など 行っている。法人全体の行事と して春にはバスで花見に出か け、手作り弁当を持参しての日 帰り旅行も恒例の楽しみになっ ている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。</p>	<p>家族より預り金として事業所で 預かり、散歩や買い物に出かけ たときに買い物をして頂いてい る。現金出納帳にて管理してい る。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>手紙の投函をお手伝いしたり、電話は子機を使用しどこでも話ができるようにしている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>日差しや電気の調整をし、明るくなり過ぎないように気を付けている。リビングにはソファを置き、ゆっくり気持ちよく過ごして頂けるよう室温や換気に配慮している。季節に合わせて、壁画やお花を飾り楽しんで頂いている。</p>	<p>日差しが差し込むリビングにはカーテンやすだれで調節するなどしている。テレビ、ソファ、椅子などが配置されゆっくり気持ち良く過ごせるよう配慮がなされている。壁面には貼り絵や職員持参の花や人形が飾られていて、心地よく過ごせる工夫がされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>ソファや椅子を別の場所に置き、一人になれる時間と空間を作っている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>自宅より使い慣れたタンスや鏡、写真、置物、仏壇等持ち込んで頂き落ち着いた安心できる居室作りを心掛けている。</p>	<p>居室には障子があり、和風的で自宅で過ごしている雰囲気のある居室になっている。今まで使い慣れた家具や大切な持物など持ち込まれ、居心地よく過ごせるよう工夫されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>トイレや浴室など表示している。日中はトイレ使用でも、夜間は歩行が不安定な方にはポータブルトイレを設置している。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームよってきんさい矢野

作成日 令和2年5月1日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会議の議事録を工夫する。	議事録の充実を図る。	①発言内容を記録。 ②わかりやすく補足を書き添える。	次回会議
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。